

「とちぎの元気な森」を次の世代に引き継ぐために

とちぎの元気な森づくりNEWS

平成22年冬号 VOL. 18



写真：四阿（あずまや）で家族団らん
（みぶハイウェイパーク：壬生町）
—木の香る環境づくり支援事業—



特集 企業等との協働による森づくりを推進しています

森のなかまたち 第7回 森の冬の合唱団 キレンジャク



晩秋から初冬、県内にも飛来する冬鳥。栃木県民の森にはこの冬、20数羽もの群れがやって来ました。

尾の先を鮮やかな黄色に染め、派手なアイシャドウを引いて♪刊刊とさえする様は、さながら冬の森の合唱団です。シベリアで繁殖する時は昆虫食ですが、日本に渡ってくる頃には果実食になります。実の中でも特に好きなのがヤドリギ。この果肉には粘着性があり、樹皮にうまく着床した種子だけが発芽します。ゆえに、キレンジャクの糞もネバネバしており、数珠玉のように繋がって出て来る糞の中にはヤドリギの種子が…。

森林は、豊かな水や空気をはぐくみ、安全で安心できる県土をつくり、さらには地球温暖化防止に貢献するなど重要な働きを担っています。これらの豊かな森林を守り育てるためには、県民や企業・団体の皆さんなど、さまざまな力を結集して森づくり活動を進めることが大切です。

そこで、県は、社会貢献活動として費用や労力を提供して森づくりに取り組む企業や団体の皆様を支援する「企業等の森づくり推進事業」を各市町と協力して平成21年度から進めています。

今回は特集として、「企業等の森づくり推進事業」に基づき、これまでに実施した森づくりの様子を御紹介します。(文中の敬称は略させていただきます。)

トラックの森

社団法人 栃木県トラック協会

■矢板市におけるトラックの森

(社)栃木県トラック協会は、平成21年10月に県及び矢板市と協定を締結し、矢板市長井の県有林(栃木県県民の森)で森づくりを始め、平成21年12月にスギ林の間伐1.66haを実施しました。

また、平成22年3月に、協会会員、矢板市立泉小学校緑の少年団、一般県民など約130名が0.50haにヤマザクラ、コナラ、ミズナラなど1,350本を植樹しました。その後、平成22年8月に下草刈りを実施しました。今後も協定期間中、下草刈りを実施します。

※協定期間

平成21年10月7日から平成27年3月31日まで



「トラックの森」(矢板市)植樹活動
(矢板市長井 栃木県県民の森)

■益子町におけるトラックの森

矢板市のトラックの森に引き続き、平成22年10月に県及び益子町と協定を締結し、益子町益子の県有林(益子の森)で新たに森づくりを始めました。

平成22年11月に協会会員、益子町立益子小学校緑の少年団など約100名が0.50haにヤマザクラ、コナラ、アカマツ700本を植樹しました。今後も協定期間中、下草刈りを実施します。

※協定期間

平成22年10月29日から平成28年3月31日まで



「トラックの森」(益子町)植樹活動
(益子町益子 益子の森)

創造の森

ソニーケミカル&インフォメーションデバイス
株式会社 鹿沼事業所

ソニーケミカル&インフォメーションデバイス(株)鹿沼事業所は、平成22年9月に県及び矢板市と協定を締結し、矢板市長井の県有林(栃木県県民の森)で森づくりを始めました。

平成22年10月に社員と家族など約140名が0.48haにヤマザクラ、コナラ、ヤマツツジなど1,467本を植樹しました。今後も協定期間中、下草刈りを実施します。

※協定期間

平成22年9月3日から平成28年3月31日まで



「創造の森」植樹活動
(矢板市長井 栃木県県民の森)

栃木県 Honda Cars の森

栃木県ホンダ会

県内のホンダ車販売店で組織する栃木県ホンダ会は、平成22年9月に県及び茂木町と協定を締結し、茂木町黒田の町有林で森づくりを始めました。

平成22年11月に会員、茂木町立須藤小学校緑の少年団など約70名が0.28haにヤマザクラとヤマモミジ360本を植樹しました。今後も協定期間中、下草刈りを実施します。

※協定期間

平成22年9月3日から平成28年3月31日まで



「栃木県 Honda Cars の森」植樹活動
(茂木町黒田)

「企業等の森づくり推進事業」について

森林の保全・整備活動(間伐・植樹・下刈りなど)
に必要な労働力・資金の提供



- 企業等が活動するフィールドの斡旋・仲介
- 企業等・森林所有者双方の目指す森林整備方針の調整
- 森林の保全・整備活動のための技術支援
- 県ホームページ等を活用した活動状況のPR

事業に関するお問い合わせ先

栃木県環境森林部

地球温暖化対策課

TEL 028-623-3297

または

(社)栃木県緑化推進委員会

(とちぎ森づくり情報センター)

TEL 028-643-6801

気軽にお問い合わせください!

多様な参加者による森づくり活動

～「はげ山」を題材にした環境学習の現場から～

現地レポート第6回となる今回は、とちぎの元気な森づくり県民税による「特色ある緑豊かな地域推進事業」を活用して県内外へ向けた環境教育活動を推進しているNPO法人「足尾に緑を育てる会」の活動を紹介します。



「はげ山」から回復しつつある山々
(日光市松木地区)



足尾に緑を育てる会



NPO法人「足尾に緑を育てる会」は、治山事業などで整備した日光市足尾地区の荒廃山腹において、植樹活動や環境教育活動などに取り組んでいます。

植樹活動には、県内はもちろん首都圏などから小・中・高校生や、大学生、社会人など年間5千人以上の参加者があります。普段、森林に触れ合うことの少ない参加者に対し、実際に木を植えることを通じて、森林の大切さを肌で感じる機会を提供しています。

また、松木村跡を案内することで、経済活動による環境への影響について振り返っていただくなど、多面的に「見て、学んで、体験する」環境学習を提供しています。そのほか、同会では植樹した苗木の管理作業や、足尾グリーンフォーラムの開催など、県内外への幅広い活動を実施しています。



植樹活動：苗木と土などを急斜面に運び上げ、穴を掘り苗木を植えます。



人気のない松木村跡を見ながら解説を受ける参加者

足尾に緑を育てる会からメッセージ

荒廃してしまった山々を望みながら植樹体験ができる足尾は、環境学習には最適の地です。未来を担う子供たちをはじめ、より多くの方々に参加いただき、環境への関心の深まりを期待します。これからは栃木県や日光市などと連携し、植樹活動を長く継続できるよう努めていきます。

URL <http://www.ashio-midori.com>

森林の適切な管理は、上流域の森林所有者の努力だけでなく、森林の恵みの受益者である下流域に住む方々の理解と参加が必要です。緑豊かな森林を未来につなげるためにも、足尾の取組の推進を通じて、さまざまな人々に森林の大切さを普及啓発していきます。

取材：栃木県県西環境森林事務所



森づくりトピックス



とちぎの元気な森づくり基金にご寄附をいただきました！

～(株)さかいりショッパーズ、ふるさととちぎ応援寄附金～

(株)さかいりショッパーズから、平成22年2月から10月まで3店舗で実施されたレジ袋の無料配布中止による収益金約20万9千円を、とちぎの元気な森づくり基金に御寄附いただき、11月25日に(株)さかいりショッパーズ本店において感謝状を贈呈いたしました。



また、11月から12月までの間に東京都や宇都宮市にお住まいの方、計4名の皆さんから、“ふるさととちぎ応援寄附金”による御寄附をいただきました。

いただいた寄附金は、とちぎの元気な森づくり県民税の税込とあわせて、荒廃した森林の整備、森林の大切さや森づくりの必要性などについて県民の皆さんに理解を深めていただく取組に活用させていただいています。

とちぎカーボンオフセット証書の

授与式が行われました！

平成22年12月4日（土）にマロニエプラザ（宇都宮市）で開催された「とちぎ環境県民大会」において、とちぎカーボンオフセット制度の認証書の授与式が行われました。

認証された企業・団体の皆さんは次のとおりです。（カッコ内は認証量）
※とちぎカーボンオフセット制度については、本号裏表紙「元気な森づくり伝言板」もご覧ください。

■森林バイオマス利活用

星野工業(株) 木質焚きボイラーにおけるスギ・ヒノキ端材の利用(26.17t-CO₂)

■森づくり

- ・NPO法人CO₂削減で地球を救う会
里山林 0.26ha 整備 (0.80 t-CO₂)
- ・リーガミカ&インフォメーション(株)鹿沼事業所
広葉樹植栽 0.48ha (4.68t-CO₂)
- ・栃木県ホンダ会
広葉樹植栽 0.28ha (6.09t-CO₂)
- ・(社)栃木県トラック協会
広葉樹植栽 0.50ha (13.53 t-CO₂)



元気な森づくり県民会議 部会だより

森づくり推進部会

元気な森づくりの日記念イベントを開催しました！

～真岡市、鹿沼市、野木町、那須塩原市～

県民会議と県では、県民の皆さんに森づくりを身近に感じていただき、森づくり活動に様々な形で参加・協力いただけるよう、県民会議の設立日である10月16日を“元気な森づくりの日”としています。

この“元気な森づくりの日”を記念し、エコもり地域推進協議会との連携のもと、10月中に県内4箇所で、県民の皆さんに気軽に参加していただける森に親しむイベントを開催しました。参加者の皆さんには熱心に活動していただき、今後とも森づくり活動に参加したいという声を数多くいただきました。ありがとうございました。



- ・場所
真岡市根本山自然観察センター・周辺山林
- ・参加者 48名
- ・森づくり体験活動(里山林の整備) 木工工作 等

県東地区(真岡市)
10月9日(土)

「実際に自分の手で竹を伐採できて貴重な体験だった」「つくったプランターにたくさんの花を飾りたい」といった感想がありました。



- ・場所
生きがいの森・鹿沼市自然体験交流センター
- ・参加者 19名
- ・森づくり体験活動(間伐など) 木工工作 等

県西地区(鹿沼市)
10月16日(土)

「木を伐る難しさ、大切さを知った」「木を伐った後の使い道や税の使い道がわかった」などの声をいただきました。



- ・場所
友沼地内雑木林・赤塚自然の森
- ・参加者 34名
- ・森づくり体験活動(下刈・間伐・植栽) 菌床栽培体験 等

県南地区(野木町)
10月16日(土)

「森の大切さがあった」「貴重な体験ができた」などの感想や「PR不足」との意見もありました。



- ・場所
塩原温泉ビュウターセンター
- ・参加者 14名
- ・森林観察会 木工工作 等

県北地区(那須塩原市)
10月30日(土)

季節外れの台風の影響であいにくの天気の中、ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました！



“元気な森づくりの日”をPRしました！ ～ベルモール（宇都宮市）他～



ベルモールでのPR

「とちぎの元気な森づくり」の取組や森林の役割、森林整備の必要性などについて一人でも多くの県民の皆さんに知っていただき、理解を深めていただくためのPR活動を、大型商業施設やさまざまなイベント会場において、元気な森づくりの日にあわせて集中的に実施しました。

元気な森づくりの日には、宇都宮市のベルモールで、クイズやパネル展示などを通してPRしました。

これからもこうしたPR活動を続けて、元気な森づくりの輪を広げていきます。皆さんも、ぜひ御参加ください。

●主な実施会場●

- 10/9（土）～10（日）
エコ・もりフェア（わくわくグランディ科学ランド）
- 10/16（土）
ベルモール
- 10/23（土）～24（日）
住宅フェア（マロニエプラザ）
- 11/3（水・祝）
スポレク祭1年前イベント（県総合グラウンド）



住宅フェアでのPR

普及・啓発部会

とちぎの森づくり交流事業を開催しました ～豊島区民が林業体験をしました！～



フィールドアート「ふくろう」を囲んで記念撮影

下流域都県民の皆さんに、本県の森林が果たす公益的機能を御理解いただくため、平成22年11月20日（土）、佐野市作原野外活動施設で豊島区民28名が参加する森づくり交流事業を開催しました。

区民の皆さんには、佐野市、作原地区むらづくり推進協議会、みかも森林組合の御協力により、間伐、丸太切り、木工工作を体験していただきました。また、整備された奥山林の見学を通して、手入れの大切さについて理解していただきました。

参加者の声

- 自分で切り出したコースターはその切断面がいとおいしいです。
- 地域の方々とふれあえたのがとても嬉しく感じました。
- 目の前で見たり自分でやってみたので、身近に感じました。間伐で切った木の使いみちを考えてみたい。



元気な森づくり伝言板



★ 木工キットを小学校に配布しています★

■木工キットを県内小学校に提供し、次代を担う子どもたちが木の良さを体で感じることによって、森林への関心や愛着を醸成するとともに、森づくりの大切さを理解していただく取組を行っています。（今年度の配布受付は終了）

■参加した子どもたちの声

- 「釘を打つのがとても楽しかった。」
- 「次は他のものを作りたい。」
- 「環境にやさしいことが出来てよかった。」

■お問い合わせ先

とちぎの元気な森づくり県民会議 木づかい推進部会事務局
 （県環境森林部 林業振興課 木材利用推進班内）
 TEL 028-623-3277



★ 「生物多様性とちぎ戦略」を策定しました★

県は、本県の豊かな生物多様性を次の世代に引き継ぐため、生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）の開催に先立ち、「生物多様性とちぎ戦略」を平成22年9月に策定しました。

生物多様性の解説や、本県の生物多様性の特徴、保全するうえでの課題、今後の取組等について、わかりやすく記載されています。ぜひ、各団体や学校等での研修・講座にご活用ください。

- A4カラー 97頁
- 県政出前講座制度を活用して、職員による本戦略の解説も実施しています。
- お問い合わせ先
 県環境森林部自然環境課 TEL 028-623-3207



★とちぎカーボンオフセット制度を御活用ください★

県は、企業や団体の皆様が県内で行う環境貢献活動（森づくり・森林バイオマス利活用・グリーン電力購入）について、栃木県独自の基準でCO₂吸収量またはCO₂削減量を算定し、認証しています（※）。活動の成果を「見える化」して、企業等の広報活動に御活用ください！

（※）栃木県独自の基準のため、市場取引はできません。



- お問い合わせ先 県環境森林部地球温暖化対策課 TEL 028-623-3262

編集・発行 とちぎの元気な森づくり県民会議 平成23年2月発行

（事務局 宇都宮市埴田1-1-20 栃木県環境森林部内 TEL 028-623-3297）

「とちぎの元気な森づくりNEWS」は、「とちぎの元気な森づくり県民税」により発行されています。